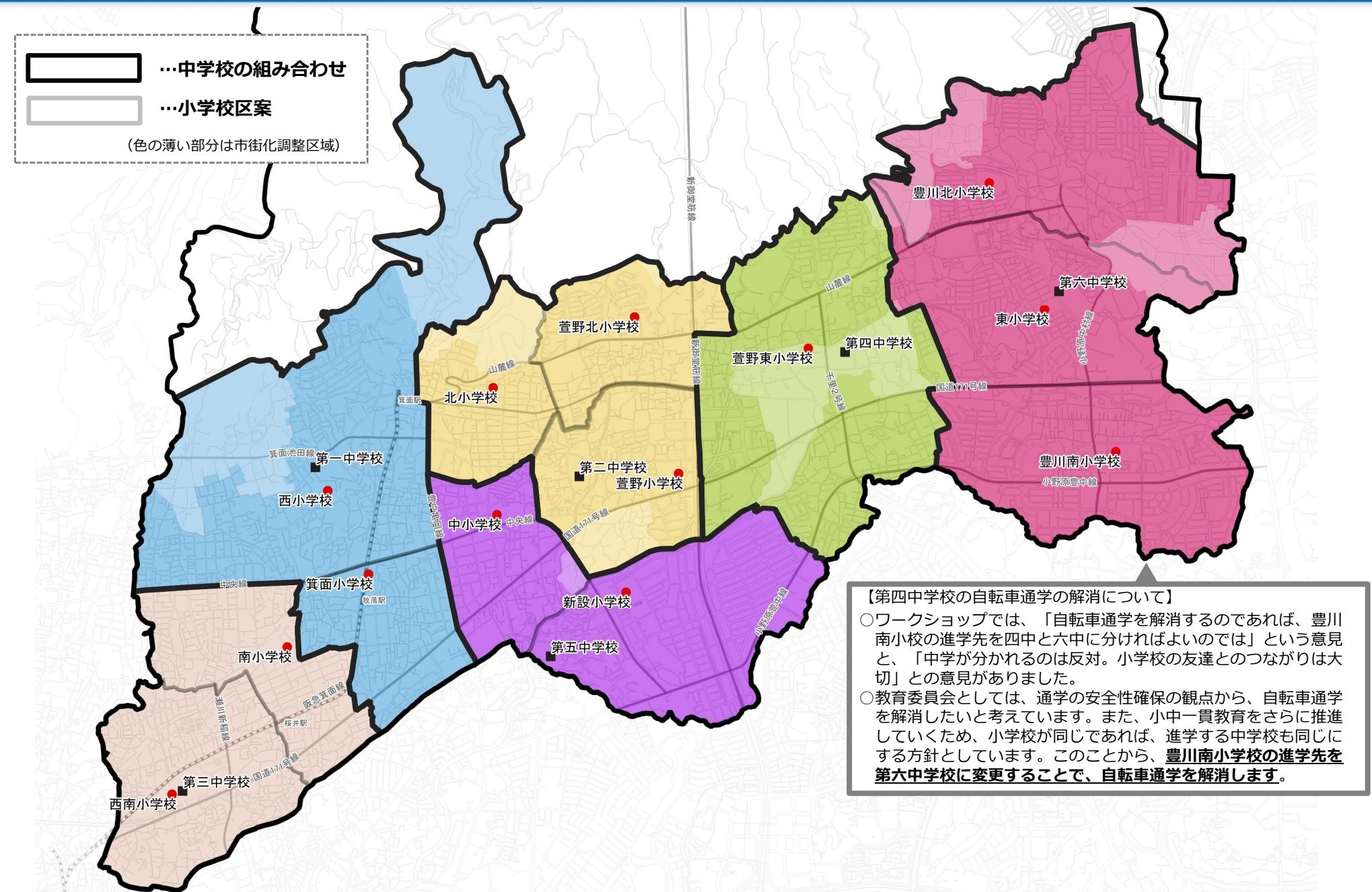


検討用校区図及び「学校敷地面積/校区面積」の状況

第7回ワークショップ・地域報告会で提示した校区見直し案（中学校区の組み合わせ）

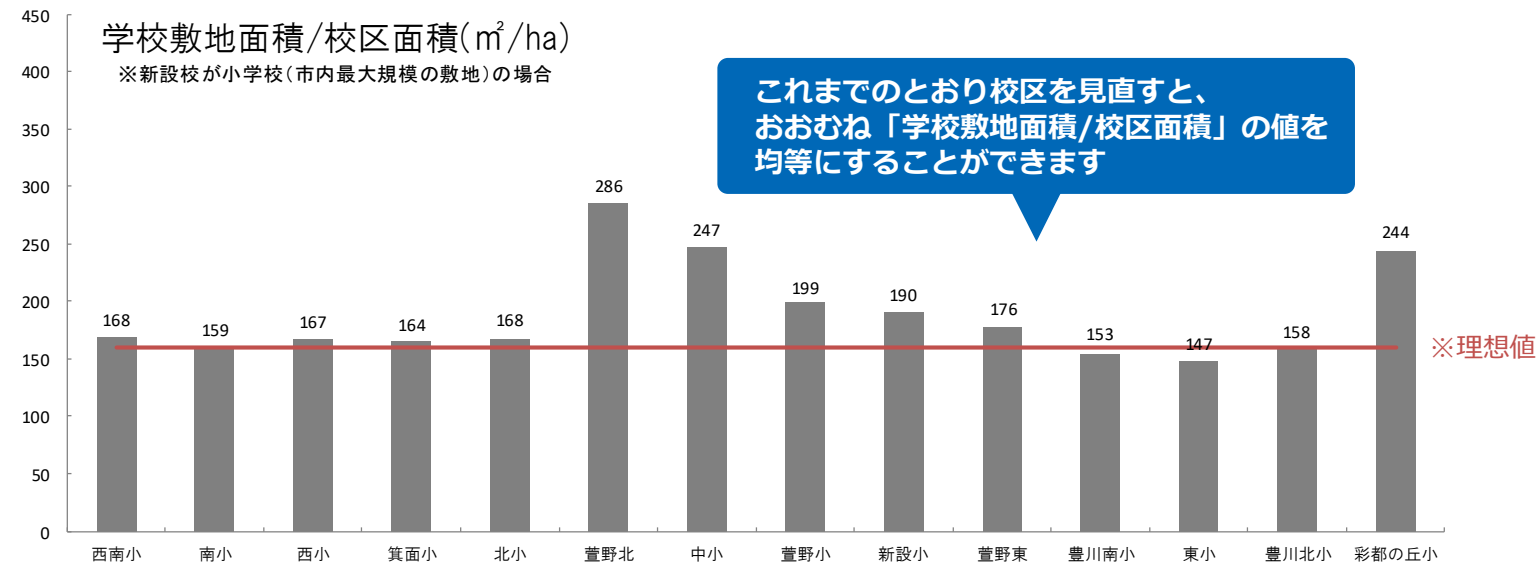
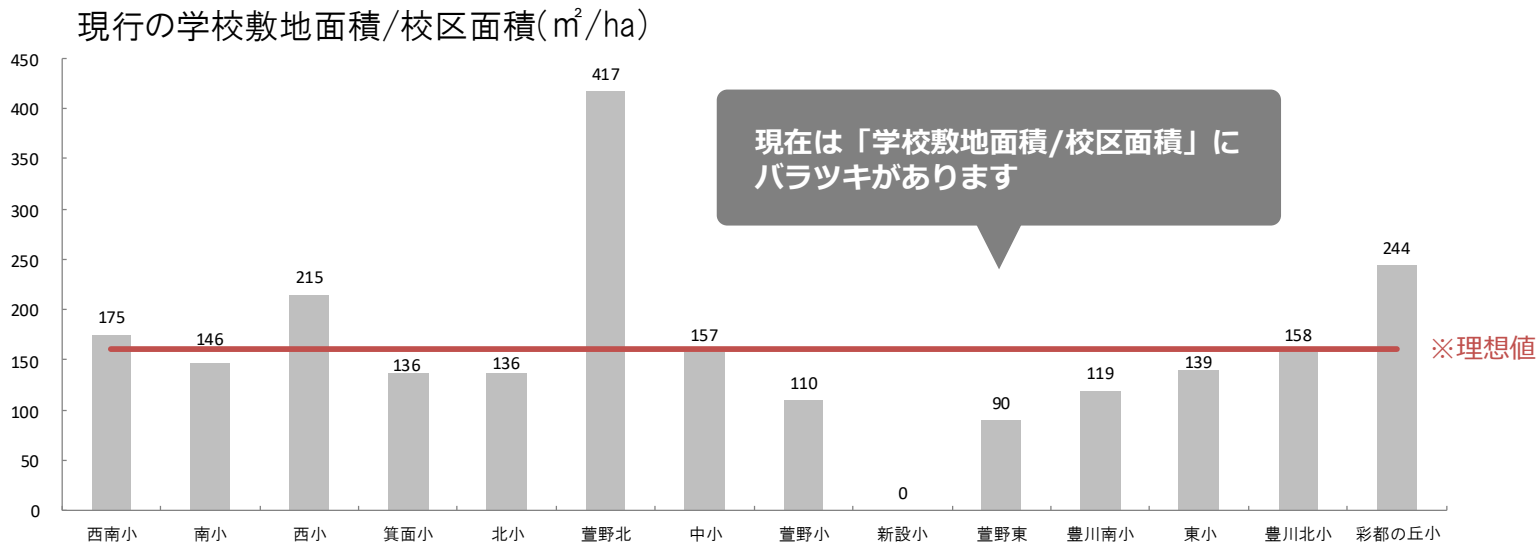


【第四中学校の自転車通学の解消について】

○ワークショップでは、「自転車通学を解消するのであれば、豊川南小校の進学先を四中と六中に分ければよいのでは」という意見と、「中学が分かれるのは反対。小学校の友達とのつながりは大切」との意見がありました。

○教育委員会としては、通学の安全性確保の観点から、自転車通学を解消したいと考えています。また、小中一貫教育をさらに推進していくため、小学校が同じであれば、進学する中学校も同じにする方針としています。このことから、**豊川南小学校の進学先を第六中学校に変更することで、自転車通学を解消します。**

見直し案における学校敷地面積/校区面積の状況



※理想値(160)は、新設校を入れた「全学校敷地面積/全校区面積」から算出したものです。
※第四中学校との一体的運用が可能な萱野東小学校と、隣接する公園の活用が可能な豊川南小学校の学校敷地面積を仮想的に拡張させて、下のグラフの「学校敷地面積/校区面積」の値を算出しています(現実には学校敷地を拡張するかどうかは実際の児童数の動向を見極めた上で判断します)